

きもの豆知識

タンスの中を確認しよう

暑い夏を越した着物は、湿気が多くそのままにしておくといざ着るときにはカビだらけなんてことも……。そうならないように冬に向けて着物のお手入れをしましょう。

桐のタンスを開けてみよう

桐のタンスの中といえども、安心してはいけません。締めっぱなしのタンスの中は結構湿気だらけ。加えて古い着物が一緒に入っていたりすると、カビが新しい着物に移ってしまうことも少なくありません。



まずは湿気をとりましょう

もし、タンスのある部屋にエアコンがついている場合は、除湿をしてタンスの湿度を飛ばしてあげることが大切。もし、エアコンがついていない場合は、窓を開けたりまた扇風機などを用いるのも効果的です。

タンスの中を最適に

タンスの中身をあまりギュウギュウ詰めせず、1～2cmぐらいい隙間は空間を開けるくらいが最適。また、着物を包んでいるたとう紙は買った時のままが多いようですが、少し色がついてきたら新しいものと交換しましょう。

余裕があったら虫干しを

本来は秋の2、3日からりと晴れた日に、半日ほど陰干し（虫干し）をするのがベストです。着物を広げることで湿気を飛ばすこともできますし、定期的に着物の状態をチェックすることができます。

歌舞伎のススメ

～野田秀樹と歌舞伎～

野田秀樹（のだひでき）さんというと、日本の劇作家で演出家であり、大竹しのぶさんの恋人でもあったことから知って見える方も多いかと思います。あまり歌舞伎と関係がないように思いますが、実は歌舞伎の演目を何作も演出されています。平成13年に『野田版 研辰の討たれ（とぎたつのうたれ）』をはじめ、平成15年の『野田版 鼠小僧（ねずみこぞう）』平成20年の『野田版 愛陀姫（あいだひめ）』、そしてこの度、歌舞伎座の八月納涼歌舞伎で1989年、劇団夢の遊眠社時代に初演された『贋作（にせさく） 桜の森の満開の下』が、歌舞伎『野田版 桜の森の満開の下』となって、上演されました。

もともと中村勘三郎さんありきの野田版歌舞伎ですが、お父さんの遺志を引き継いで勘九郎さんと七之助さんが出演されました。

私も野田版の歌舞伎は『野田版 研辰の討たれ（とぎたつのうたれ）』と『野田版 鼠小僧（ねずみこぞう）』を見ました。古典の歌舞伎とは違ったテンポの良い掛け合いが印象的で、やはりお茶目で遊び心のある亡き勘三郎さんをイメージして脚本を考えられたのかなと想像してしまいます。

先月号で紹介したシネマ歌舞伎でもたまたま上演されますので、興味のある方はチェックしてみてください。



型染を巡る旅展

豊橋ではじめて展示いたします。

とき 2017

10/27金 ~ 29日

午前10時 ~ 午後5時

ところ 豊橋市三の丸会館 松・竹の間

豊橋市今橋町3-1
TEL (0532) 56-6022 FAX (0532) 56-6022
<http://www.bunzai.or.jp/sannomaru/>



竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



8月までは暑い日が多かったのですが、9月に入り急に朝晩が涼しくなりました。心なしかお茶室に差し込む日差しも秋模様を感じます。しかし、今月まではまだまだかき氷をやりますので、今年最後のかき氷を食べに来てくださいね！

新コーナー

今月のコーディネート



まだまだ暑い日が続きますが、紺のジャケットで秋のお出掛けの準備を！薄すぎず、厚すぎず行楽の秋の旅行には最適です。シックな色目にスカーフで華やかさを足して！

久留米紺ジャケット 46,440円 カットソー 12,960円
スカーフ 5,400円 帽子 9,720円 パンツ 5,360円

草木染講習会

日時 10月25日（水）

午前の部 9:30 ~ 午後の部 13:00 ~

会費 1,000円（1回につき）+ 材料費

用意するもの：厚手のゴム手袋、エプロン

臭木（くきぎ）で透かし染めを染めよう！



今回は2回コースの2回目です。前回不参加の方で、今回だけの参加も可能です。

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

9月21日（木）～25日（月）

草木染の小物を特集します。